

松本市洞地区におけるゲンジボタルの発生

信州大学理学部生物科学科 4年 関 諒一
中村尚史

1. はじめに

毎年6月の中旬から松本市洞地区の女鳥羽川沿いではゲンジボタルの発光が見られる。信州大学に入学した2003年から友人たちの協力を得て松本市のホタル、特にゲンジボタルの成虫の生態を調査している。本調査は2006年現在4年目を迎え、今回はその成果を発表したい。

2. ゲンジボタルの生態

- ・ゲンジボタルは甲虫目ホタル科に属する。
- ・7月に産卵された卵は8月に孵化し、翌年の5月まで水中で生活する。
- ・主なエサは巻貝のカワニナである。

3. 調査地域

松本市洞地区の女鳥羽川

- ① 洞橋下流（約150M）
- ② 洞橋（約100M）

4. 調査方法

- ・毎晩20時から21時におこなった。
- ・観測地点を毎日決まったコースで歩く。
- ・ゲンジボタルの飛翔数と静止数に分け、カウンターを使用して計測した。

